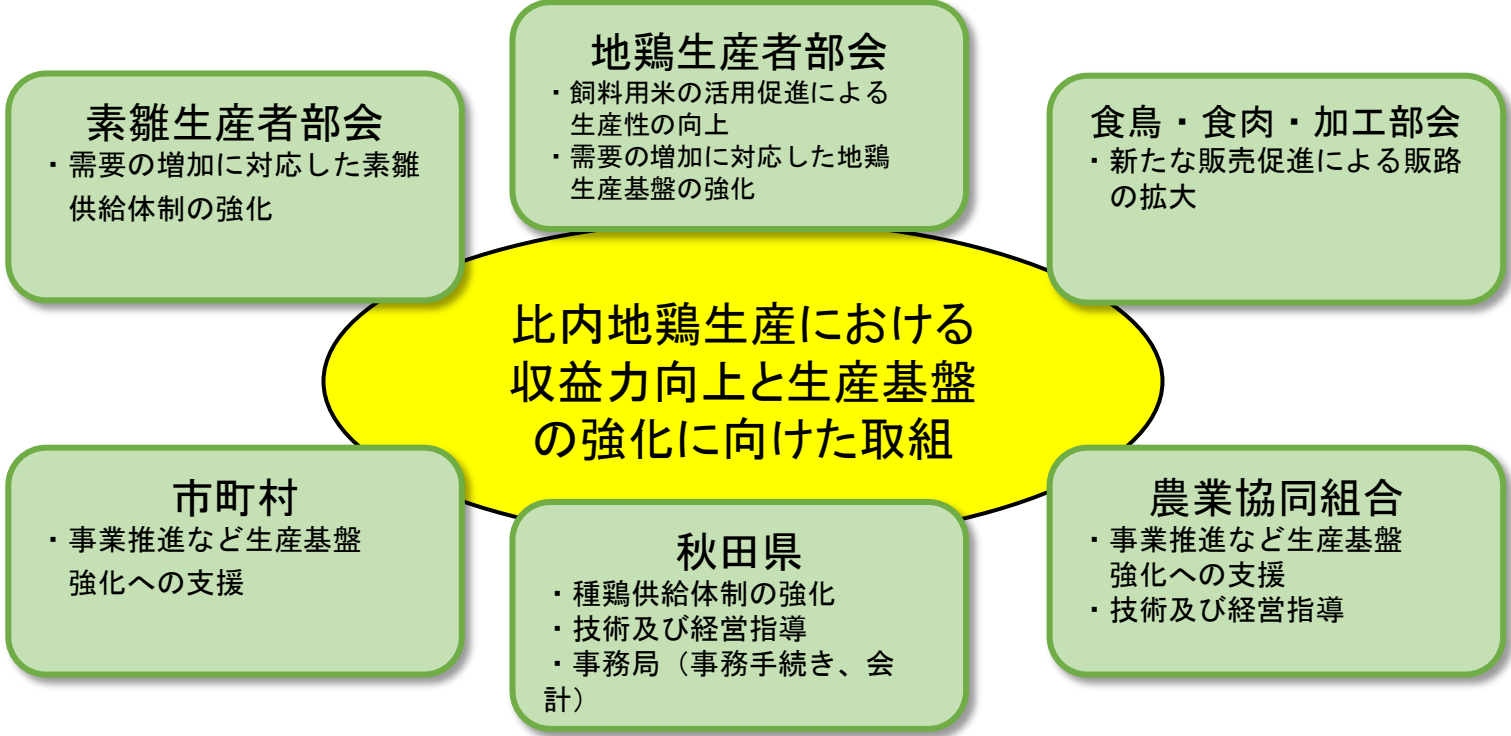


産地全体が一体となって収益性向上に取り組む畜産クラスター事例④ 秋田県

秋田県比内地鶏ブランド認証推進協議会

秋田県を代表する特産品である比内地鶏について、飼料用米の活用促進や新たな販売促進の取組を実証し、生産性向上や販路拡大などの収益力の向上を図る。
また、これらの取組等により拡大する需要に対応した生産基盤を構築する。



（実証内容）

- ①飼料用米の活用促進による生産性の向上
比内地鶏の飼料用米多給飼育技術の実証
- ②新たな販売促進による販路の拡大
外国人観光客をターゲットとした新たな販売促進の実証



（取組の効果）

- ①飼料用米の活用促進による生産性の向上
比内地鶏の飼料用米多給飼育技術の実証・普及により、飼料費の低減による低コスト化が図られる。
- ②新たな販売促進による販路の拡大
外国人観光客をターゲットとした新たな販売促進の展開により、販路の拡大や国内景気に左右されにくい需要の創出が図られる。

【地域全体の収益性向上】
飼料費の5%低減
（1羽当たり約51円）
51円／羽 × 587千羽
＝30百万円の収益増